



長万部中学校

写真で見る 学校の様子



静狩小学校



1年 職場体験学習 (10/30)



2年 幼稚園訪問 (11/4)



3年 赤ちゃん講座 (11/21)



nexco東日本の皆さんとバードハウスの製作 (9/18)



地域の皆さんとパークゴルフ (10/2)



長万部町教育研究大会の授業風景 (1・2年) (11/18)

九月に恒例の「収穫祭」を開催しました。学校園で収穫した野菜を使って、料理を作り、お世話になった方々をおもてなしする行事です。

地域の方から畑をお借りしたり、トウモロコシや枝豆の苗を分けていただいたりしました。PTAのお父さんに耕運機で畑を起こしていただきました。子ども達は水やりや草抜きなどの世話をしっかりと行い、今年も大根、さつまいも、かぼちゃ、枝豆など大豊作でした。

さて、学校園の一部を使って私も植物を育てることにしました。ニセコの道の駅で初めて現物を見たことや、電子レンジの中で、パンパンとはじける様子をあたるテレビ番組で見たことがきっかけです。その様子をみせたら、きっと子ども達も喜ぶだろうと思いましたが、運動会前に種を蒔き、収穫は十月下旬。何を植えているかは秘密にしてみました。収穫後、水分をとばすために三週間ほど乾燥させ



「やってみたい」「喜ばせたい」という意欲が……

静狩小学校長
三浦 哲也

ました。全校朝会で話をする機会があったので、春から植えていた「謎」の植物についての話をしました。成長の様子を写真で見せてから、「これはある食べ物に変身します」と言って、フライパンに油とその植物の実(粒)を入れ、塩を振りかけました。そして、コンロの火をつけ、変化の様子がよくわかるように鉄のざるをかぶせました。

しばらくすると、粒がパンとはじけ、白いものに変身し始めました。子ども達は驚きの声をあげ、その変化に見入っていました。そうです、その正体とはポップコーンです。

子ども達は「おいしい。おいしい」と言ってポップコーンをほおばりました。子ども達の喜ぶ姿を見るのは本当に楽しいものです。「知りたい」「やってみたい」「喜ばせたい」という意欲が全ての活動の原動力につながることを再認識しました。

タイ王国 Chiang Mai Rajabhat 大学の 学生・教員を招へい



長万部の 教育 コーナー 今、キャンパスでは



東京理科大学

長万部キャンパスでは、独立行政法人科学技術振興機構(JST)の平成26年度日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)の支援を受けて、11月27日(12月1日)にタイ王国 Chiang Mai Rajabhat 大学の学生・教員9名を長万部に招へいしました。

11月号の広報おしゃまんべでもご紹介しましたが、この事業は、産学官の緊密な連携により、優秀なアジアの青少年が日本を短期に訪問し、未来を担うアジアと日本の青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目指しています。

そしてアジアの青少年に日本最先端の科学技術への関心を高め、もつて日本の大学・研究機関や企業が必要とする海外からの優秀な人材の育成に貢献することを目的としています。

期間中、タイ人学生は各種実験、茶道、懇親会等々の他、長万部高校訪問や町内の施設見学などを行い、最終日には別れを惜しんで涙ぐむ学生もいました。今年度末には本学の学生数名をタイの大学に派遣する予定もあり、今後とも本学はこのような機会を生かして国際化を加速して参りますので、町民の皆様におかれましてはご理解と協力を賜りたくお願い申し上げます。



『つめた〜い♪』

「ゆきだるまをつくるっ!」

さかえ保育所の子どもたちは、寒くなっても元気いっぱい!

初めて雪が積もった日は、手袋をしていないことも気にせず、冷たい雪の感触に大ハシヤギです。保育者をターゲットにした雪合戦がはじまつたり、『アナと雪の女王』の歌

を口ずさみながら雪だるまを作ったりそれを壊したり(笑)。みんな思い思いに楽しんでとっても盛りあがっていましたよ! これからますます厳しい寒さを迎えますが、このパワーで乗りきってみたいですね。

さかえ保育所